株式会社二川ホールディングス様に対する『114 ポジティブ・インパクト・ファイナンス』第３回モニタリングの実施について

百十四銀行（頭取 森 匡史）は、2023 年 10 月 31 日（火）に実行した加古川支店取引先 株式会社二川ホールディングス（兵庫県加古川市 代表取締役 二川 昌也）向け『114 ポジティブ・インパクト・ファイナンス（※）』に対し、3 回目のモニタリングを実施しましたのでお知らせします。

ポジティブ・インパクト・ファイナンスにおけるモニタリングでは、融資実行時に発行したポジティブ・インパクト・ファイナンス評価書に掲げる、お客さまのマテリアリティ（重要課題）を解決するための取組方針と、その達成度合いを測定する KPI（重要目標達成指標）に対し、進捗状況の確認と、KPI 達成に向けた各種支援を実施します。本件モニタリングを通じて、お客さまのサステナブル経営を一層推進します。

当行は、今後も地域金融機関として、お客さまの SDGs や ESG への取組みを支援してまいります。

（※） お客さまの企業活動が経済・社会・環境にもたらすインパクトを包括的に評価し、ポジティブインパクトの拡大とネガティブインパクトの緩和に向けた取組みを支援する融資。当行のポジティブ・インパクト・ファイナンス実施体制については、株式会社格付投資情報センターより、国連環境計画・金融イニシアティブ『UNEP FI』が制定したポジティブ・インパクト・ファイナンス原則に適合している旨のセカンドオピニオンを取得しています。

記

■企業の概要

会 社 名　株式会社二川ホールディングス
所 在 地　兵庫県加古川市平岡町二俣 249 番地の 1
業　　種　機械器具製造業、再生可能エネルギー業

【サステナブルな取組み】

『お客様のお役に立つ』という企業理念のもと、モノづくりを中心に、新しい事業にも果敢に挑戦し続けています。
また、グループ全体において、「FUTAGAWA 2030 VISION」を掲げ、SDGs を軸に 4 つの価値を設定し、グローカル企業として事業活動を行っています。

1.地域価値向上
3 つの事業（製造事業、再エネ事業、新規事業）を通じて企業価値の向上に貢献します。

2.ダイバーシティ
多様な人材が活躍できる職場づくりを目指します。

3.環境負荷軽減
フタガワグループの事業間で相乗効果により自社だけでなく、地域社会やサプライヤーと共に環境負荷を軽減するリーダーシップを発揮します。

4.事業創造力
地域社会との共創による提供価値を高める事業を創造し続けます。

※ 株式会社二川ホールディングスの「ポジティブ・インパクト・ファイナンス第 3 回モニタリング報告書」については、別紙をご参照ください。

以　上

株式会社 百十四銀行　高松市亀井町5番地の1　TEL 087-831-0114（大代表）

株式会社二川ホールディングス

ポジティブ・インパクト・ファイナンス

第3回モニタリング報告書



２０２６年１１月２６日

いい出会い ふくらむ未来
百十四銀行

内容

1．フタガワグループの企業概要 3
2．目標達成に向けた進捗状況 5
3．総評 7

1．フタガワグループの企業概要

企業名	株式会社二川ホールディングス
設立	2012年5月31日
代表者名	代表取締役　二川 昌也
所在地	〒675-0111　兵庫県加古川市平岡町二俣249番地の1
資本金	2,940,000円
事業内容	不動産の所有、管理、売買、仲介、斡旋、賃貸借、鑑定、有効活用及び開発 自然エネルギー等による発電事業

企業名	株式会社二川工業製作所
設立	1943年4月18日
本社／加古川工場	〒675-0111　兵庫県加古川市平岡町二俣249番地の1 敷地面積5,650㎡　建屋面積4,150㎡
二見工場	〒675-0164　兵庫県加古郡播磨町東新島13番地 敷地面積11,344㎡　建屋面積6,579㎡
尾上工場	〒675-0023　兵庫県加古川市尾上町池田1885番の1 敷地面積7,469㎡　建屋面積3,770㎡
神戸工場	〒651-2228　兵庫県神戸市西区見津が丘7丁目5-5 敷地面積16,494㎡　建屋面積5,363㎡
稲美工場	〒675-1113　兵庫県加古郡稲美町岡538
陵南工場	〒675-0019　兵庫県加古川市野口町水足123-15
総務部	〒675-0101　兵庫県加古川市平岡町新在家1丁目256-8　二川ビル2階
建築設計部	〒650-0017　兵庫県神戸市中央区楠町5丁目3-11　GUSTO HOUSE2階
資本金	10,000,000円
事業内容	建設機械装置及び部品製造事業、産業ロボット部品製造事業、船舶用エンジン部品製造事業、再生可能エネルギー発電事業、人材紹介業、建築設計事業

企業名	徐州二川机械有限公司
設立	2013年11月8日
所在地	〒221004　徐州経済技術開発区CAT工業園区C2区
資本金	9,500,000ドル
事業内容	素材調達から機械、溶接、塗装、組立
製造品目	作動油タンク、燃料タンク

企業名	株式会社フタガワテック
設立	1999年10月1日
所在地	〒675-0164　兵庫県加古郡播磨町東新島13番地
資本金	10,000,000円
事業内容	労働者派遣事業 自然エネルギー等による発電事業
労働者派遣 事業業務内容	機械設計・製図・解析・研究開発業務 事務用機器操作 図面情報処理システムによる出図業務 性能計算に関する業務

企業名	株式会社フタガワ
設立	2018年3月2日
所在地	〒675-0111　兵庫県加古川市平岡町二俣249番地の1
資本金	10,000,000円
事業内容	古物営業法に基づく古物商、ブランド品等の買取・販売 ホテル等の宿泊施設の運営・管理及び経営

企業名	株式会社二川畜産
設立	2023年6月14日
所在地	〒675-0111　兵庫県加古川市平岡町二俣249番地の1
資本金	1,000,000円
事業内容	牛肉の生産・肥育に関する業務

2. 目標達成に向けた進捗状況

項目	内容
インパクト	信頼と責任のある循環型モノづくり企業
対応方針	環境負荷軽減に向けたエコアクション21での取組推進 工場内の廃棄物を再利用する循環型工場の構築 自動化・省人化による効率性の向上と安心・安全な職場づくり
KPI⑴	①2030年まで毎年、小集団の環境負荷軽減活動（節水対策やプラスチックのリサイクル等の取組み）を14件以上実施 ②2030年まで毎年、売上対比の年間廃棄物排出量を前年比▲1% ③2030年まで毎年、CO2排出量・大気汚染物質の削減に向け工数の低減を前年比▲5%
KPI進捗状況	①環境負荷軽減活動22件実施。環境負荷軽減活動に対する従業員の意識は継続的に高い水準が保たれている。今後も目標達成の見込み。 ②売上対比の年間廃棄物排出量は前年比▲12.7%と目標達成。環境経営基本方針に沿った活動が実践されている。パレットの見直しによる木くず削減及び廃油の濾過による排出量削減等、現場の改善活動を推進することで引き続き目標達成をめざす。 ③生産量が増加するなかでも総工数の低減は▲4.8%と目標に近い水準で推移。省人化による生産ラインの見直し等、現場の改善活動を進めた。効率化を進め工数を低減することで、CO2排出量・大気汚染物質を削減していく。  

項目	内容
インパクト	地球温暖化対策への積極的取組み
対応方針	地域事業への再生可能エネルギー100%電力の提供 再エネと環境保全の両立による取引先企業をSDGs推進企業へ 再エネ100%宣言RE Actionの参加企業と協働し、脱炭素化社会の推進
KPI⑵	①2030年までに自治体所有施設への電力供給　累計3ヶ所 ②2030年までに取引先企業に対し、脱炭素や環境ビジネス等への取組提案累計5件 ③2030年までに保有再生可能エネルギー発電設備の発電効率を1,198.81kWh/kW以上とする（過去5年間の平均発電効率1,163.89kWh/kWから3%改善）

KPI進捗状況	①現時点では電力供給実績なし。自治体所有施設への電力供給は、再生可能エネルギー活用について自治体と交渉継続中。加古川市とはゼロカーボンパートナー協定を締結しており、再生可能エネルギーの活用推進、脱炭素化に向けた各種提言を積極的に推進する等、目標達成に向けて取り組んでいる。 ②取引先企業に対する提案については積極的に実施し、累計2件提案実施済み（うち1件は提案継続中）。KPIに対し着実に進展している。 ③保有再生可能エネルギー発電設備の発電効率1,196.72kWh/kW（過去5年間の平均発電効率から2.82%の改善）と現時点では目標未達となるが、既存太陽光発電パネルのリパワリング（※）推進、害獣被害への対応を適正に実施することで発電効率の最適化を図り、2030年までに3%改善の目標達成をめざす。 （※）経年劣化した機器（パネル・パワーコンディショナー等）を最新機器に交換・更新することで、発電効率の向上や設備の延命を図る取り組み。 

項目	内容
インパクト	地域社会との共創による豊かな暮らしの提供
対応方針	産官学連携によるイノベーションの創出
KPI(3)	2030年までに教育現場×太陽光の産官学共同プロジェクト事業開始　累計2件
KPI進捗状況	現時点では実績なし。地域社会に太陽光発電事業への理解を深めてもらうために、教育、啓発活動を展開。自治体と協働で小学生向けの勉強会を年1回程度開催している。今後も自治体とのコミュニケーションを活発化し、プロジェクト事業化に向けた対話を推進していく方針。

項目	内容
インパクト	不正や差別が無い働きがいのある職場環境の構築
対応方針	積極的な多様な人材の採用と育成の仕組みづくりの構築 工場環境改善による安心して働ける職場づくりと、働き方の多様化に対する制度の見直しの実施 エンゲージメント調査の定期的な実施による、従業員満足度の高い職場づくり 外国籍の方がより活躍できる職場を作るための、生活基盤支援やコミュニケーションの活性化の実施

KPI⑷	①2030年までに平均離職率9%以下（2022年：12.5%） ②2025年までに人事制度・給与体系の改定完了、次世代幹部の育成完了 ③2030年までに事故・災害件数0件 ④2030年までにエンゲージメント調査による従業員満足度90%以上（第4回から削除予定） ⑤2030年までに外国籍社員向けの管理職研修とキャリアアップ説明会を年1回以上実施
KPI進捗状況	①離職率は2026年6月期実績11.5%と前年13.4%から改善。基本給の引き上げを実施。引き続き雇用環境の整備を行うことにより、9%以下の目標達成をめざす。 ②人事制度の改定については、最低賃金の引き上げもあり当初計画を見直し。給与体系の改定を優先課題として改定方針を社内協議中。2028年度中の改定を目標に経営層を中心に検討を継続する方針。次世代幹部の育成については、特定技能1号の在留資格を保有する従業員に対する日本語教育等、特定技能2号を取得するための社内サポート体制を整備している。 ③事故・災害件数は0件とはならなかったが、発生した事例について安全衛生委員会を中心に原因の分析や再発防止策の策定、工場間での事例共有をすることで再発防止につとめている。 ④エンゲージメント調査については、給与体系の改定等、制度面の見直しがより効果的であり優先すべき施策と判断し、方針の見直しを行ったため未実施。④は次回第4回モニタリングより削除する。今後は、制度面の職場環境整備と併せて、社内コミュニケーションの活性化を図ることで従業員満足度の更なる向上を図っていく方針。 ⑤外国籍社員向け管理職研修・キャリアアップ説明会については、管理職候補となる外国籍該当者が少なく未実施。上記②での人材育成と合わせて、2030年に向けて管理職のモデルケースとなる人材を選定のうえ、実施予定。 

3. 総評

各KPIの目標達成に向けた取組みについて、目標を達成した項目もある一方、当初計画から見直しを行った項目もある。環境的側面における「廃棄物」「大気」「資源効率・安全性」「気候」のNIを低減する活動は引き続き順調に推移している。小集団の環境負荷軽減活動は年間22件と目標を大きく上回り、売上対比の年間廃棄物排出量についても前年比▲12.7%と高水準で目標を達成している。環境経営基本方針を各小集団が理解し、環境負荷軽減活動に対して高い意識を持っており、各小集団で活動の企画立案を実践。今後も目標達成が見込まれる。

地球温暖化対策への取組みでは、保有する再生可能エネルギー発電設備の発電効率の最適化を図ることで目標値に近い水準で推移している。自治体所有施設への電力供給に向けた交渉や脱炭素化推進活動も継続中であり、加古川市とのゼロカーボンパートナー協定のもと、地球温暖化対策への取組みを更に強化していく方針である。

「雇用」のPI向上、NI低減に関しては、基本給の引き上げ及び外国籍社員の育成サポート体制の整備により離職率が改善する等、不正や差別が無い働きがいのある職場環境の構築に一定の成果が見られる。一方、人事制度の改定、

エンゲージメント調査の実施については当初計画から見直しが生じており、従業員満足度の高い職場づくりに向けて社内コミュニケーションの活性化を図る等、経営層を中心とした職場環境整備への取組みが求められる。給与体系改定の進捗については、現在方針策定段階にあるため、引き続き進捗を注視し、次回モニタリング時には目標期限の見直しも含めた対応方針を検討する。
百十四銀行としては、今後も外国籍社員の定着支援をはじめ、人事制度構築支援コンサルティングを提案し、当社のKPI達成に向けた取組みを継続的に支援していく。